



〈地球規模で考え、地域で行動する〉

第44回 オープンカレッジ

■学長：山崎 祐介(国立富山高等専門学校名誉教授)

■副学長：田添 等楊(画家)

日本海側のメタンハイドレート

日本は、海底地下資源メタンハイドレートで祖国を資源大国にできる大きな可能性があります。日本政府も動き出しました。過去最大規模の予算を投入し、太平洋側のメタンハイドレート開発をさらに進めることに加え、日本海側では2015年度まで集中調査を実施することとし、2020年代の前半にはメタンハイドレートの商業生産を開始することを最終的な目標としています。国家戦略として急ぐ計画で、2018年度をメドに採掘方法を含む技術基盤の確立を目指し、2020年代の半ばには民間企業が商業生産を開始できるようにすることを目標にしており、太平洋側の砂層型と日本海側の表層型の開発を並行して進める方針です。



講義のレジメ

- 石油等のように使い切りのエネルギーでなくて、ほぼ無限に使えるメタンハイドレートとはどんなものか
- 表層型メタンハイドレートが日本海側に最近多く見つかった経緯
- 表層型メタンハイドレート採取方法はどんなものか(現在未解決)
- 商業生産に向けての課題(既得権益との闘い、地震誘発・地盤沈下の可能性、地球温暖化への影響、領土問題)

講師 山崎祐介先生

(国立富山高等専門学校名誉教授)



【やまざき・ゆうすけ】

1941年5月生まれ。1964年神戸商船大学航海学科卒業。山下新日本汽船(株)、海技大学校・太平洋沿海フェリー(株)を経て1979年国立富山商船高等専門学校(現国立富山高等専門学校)航海学科講師、1988年同校教授。2005年同校名誉教授。現在当オープンカレッジ学長。

日時：4月25日(土) 午後1時30分～

会場：一般財団法人富山県自由民主会館

(自由民主党富山県支部連合会)

富山市舟橋南町3番15号 ☎076-432-2520

参加費：500円

主催：富山県平和大使協議会

富山市西町7-13

☎・FAX 076-421-1712

共催：世界平和連合富山県連合会、アジアと日本の平和と安全を守る富山県フォーラム